

さきびと

## 先人の 後追い転がる 老いの坂

満4年ともなれば、さしものコロナも影が薄くなり、一昨年からのウクライナ侵攻騒ぎに ハマス-イスラエル紛争が加わって、昨年は戦(争)が主題。と言っても、悲しいこと、80代も半ばになった私達には、その余波にアップアップしながらも戦争は遙かに遠い存在で、人間は歳と共に段々視野が狭くなる とか、自分が生きていだろう時限までのことしか考えられない、と言う説に心ならずも納得させられています。

ところで オケラは、15年前から、心臓を始めとする数々の外科手術で、その都度 入院を余儀なくされてきましたが、いよいよその順が回ったのか、これまで無傷だったメケラが、昨年9月、右大腿骨転子部骨折で、手術とリハビリを含め 45日の入院を致しました。本人は生まれて初めての入院でルンルン気分でしたが、オケラは久しぶりの一人暮らしにヨロヨロオタオタ。そして二人とも 目出度く介護保険要支援2と1になりました。更けメケラの暮は、ギリギリまで白内障の手術。この先 老いが如何展開するのか、少々気になるところです。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

令和六年元旦

オケラ・メケラ